

令和8年度 茨城県立農業大学校評価表

重点目標Ⅳ 【 入学生の確保 】

1 現状及び課題、並びに評価項目

現 状	課 題	評価項目（達成目標）
○本校養成課程の入学者は、令和5年度までは概ね 70～80%の定員充足率であったが、令和6年以降は入学者の減少が続いている。特に畜産学科及び園芸学科の定員充足率が低い。（直近5年間の定員充足率 65%、学科別では、農学科 89%、畜産学科 42%、園芸学科 40%） ○例年、オープンキャンパス参加者（2回）の半数以上が推薦入試を受験しており、R8年度入学生は、一般入試も含めた受験者はオープンキャンパス参加者の約57%を占めている。	○受験対象者への効果的な情報提供を充実させることにより、オープンキャンパスについての周知活動を強化し、オープンキャンパスの参加者を確保する。	オープンキャンパス参加者の確保 オープンキャンパス参加実人数（受験対象者） 80人
○県内農業関連高校出身の学生の割合は、年により変動はあるものの、例年45%程度を占めている（本年度 44%、直近5か年平均 45%）。 ○現在、普通高校からの入学者が半数以上を占めるが、普通高校への情報提供は、高校訪問（5～6月）や学校へ出向いての説明会が中心である。 ○農家出身の本校学生の割合は減少傾向にある一方、非農家出身の割合は年々高まり、R8年度は69%を占めている。 ○入学生の本校を知ったきっかけとして、家族からの情報、クラス担任や進路指導教諭、農大ホームページ・SNSが多くを占めている。	○SNS等を活用し、学校における日常、取り組んでいる授業や行事について発信し、普通高校の生徒などに幅広く情報を提供する。 ○高校との連携活動や高校で実施される進路ガイダンス等を活用し、進路選択に大きな影響を与える教員へ情報提供、農業に関心のある高校生等に情報が伝わるよう働きかけ、入学者を確保する。	令和9年度入学者の確保 養成課程出願者数 60人以上 ※過去5か年平均58人 R7実績51人

2 評価項目別の評価及び次年度の課題等

（1）オープンキャンパス参加者の確保

達成目標	達成度	評価の概要	関係者評価委員会からのコメント（全般）	達成度の評価基準	
オープンキャンパス参加実人数 （受験対象者） 80人 【R7実績：53人】				A	90%以上の達成
				B	75～89%の達成
				C	60～74%の達成
				D	45～59%の達成
				E	45%未満の達成

目標達成に向けた具体的方策	具体的方策の取組実績及び成果	次年度の課題	関係者評価委員会からのコメント
ア【継続】オープンキャンパスの開催 ・高校生が進路を決定する8月までに、各キャンパスで2回ずつ計4回開催し、受験対象者80名以上の参加者を集める。 6月「学校説明会」、7月「体験入学会」 【R7実績：計4回 受験対象参加者53名】 ・参加者に農大入学後をイメージして貰えるよう、学生を運営に参加させる。 本校学生延べ100人 【R7実績：延88人】 イ【継続】オンラインを活用した募集イベントの実施 ・スマートフォンやパソコンを介して、体験入学会終了後から一般入試出願までの間、距離や時間に制約されない募集活動を展開する。 オンラインオープンキャンパスの開催 6回（8、9、10、11、12、1月） 【R7実績：6回、13名】			

ウ【継続】イベントに参加できない個別見学希望者に対する対応 ・個別に受入れを実施する。 随時【R7実績：9組、9名】 エ【継続】高校訪問による参加者募集 ・高校教員に高校生のオープンキャンパス参加推進と合わせ、本校受験に向けた働きかけを依頼する。 5月 県内全高校 134校【R7実績：134校】 オ【拡充】広報活動の強化 ・県内高校、市町村及び県の関係部署、その他関係機関・団体へ、オープンキャンパス情報記載のポスター掲示やチラシによる周知について協力を依頼する。 5月 ・新たな広報手段としてInstagramを活用した周知 6～7月			
---	--	--	--

(2) R9年度入学者の確保

達成目標	達成度	評価の概要	関係者評価委員会からのコメント（全般）	達成度の評価基準	
養成課程出願者数 60人以上 【R7実績：51人】				A	90%以上の達成
				B	75～89%の達成
				C	60～74%の達成
				D	45～59%の達成
				E	45%未満の達成

目標達成に向けた具体的方策	具体的方策の取組実績及び成果	次年度の課題	関係者評価委員会からのコメント
ア【継続】教務職員による高校訪問 ・職員が県内在校生出身校ならびにオープンキャンパス参加者在校校等を訪問し出願を推進する。また、県外高校については過去に複数の入学者を輩出した出身校およびオープンキャンパスの参加者在校校へ訪問を行い、高校生の本校受験に向けた働きかけを依頼する。 8～9月 県内高校 50校、県外高校 15校以上 【R7実績：県内高校 45校、県外高校 13校】 イ【継続・新規】高校等との連携 ・各高校進路説明会への参加や高校への出前授業等を実施する。 35回以上／年（農業部、園芸部）【R7実績：32回】 ・高大連携講座（水戸農業高校）を実施する。 5回／年 ウ【継続】教育懇談会の開催 ・高等学校の教員に直に本校の学生や施設を見てもらうことで本校の教育および入学試験に対する理解を深めてもらう。 1月			

エ【拡充】受験生保護者等へ向けた情報提供 ・市町村、ＪＡ、関係機関へ、広報誌等への学生募集記事掲載を依頼し、希望市町村等へは掲載原稿の参考案を送付する。 ５～９月 【Ｒ７実績：１３機関・団体で掲載】 ・イベント（就農相談会）参加により志願者の掘り出しを行う。 ７、１２月			
---	--	--	--